

「正しく学び、行動しよう！」

高崎市立城南小学校

1 取り組みの概要

本校では、代表委員の5, 6年生を中心に全校児童みんなで環境活動に取り組んでいます。今年度は、環境について意識を向けたり自分にできることを考えたりという『学ぶこと』をより積極的に各学年が各教科の中で行い、日々の生活の中での実践を目指してきました。

2 今年度の活動内容

○ペットボトルキャップ回収等への取り組み

毎月最初の登校日を「城南小学校環境デー」として実施しました。環境デーにはペットボトルキャップ回収として、玄関に回収箱を設置しました。たくさん集めておいてくれた家庭もあり、重たいほどキャップを持ってくる児童もいました。今年度は、45リットルのビニール8袋ほどのキャップが集まりました。ゴミとして捨てるのではなく、再利用することで、環境への負荷が減っていることをいろいろな授業の中でも扱い、ゴミの削減につながるよう意識できるようになってきています。また、ベルマーク活動の一環として、不要になったインクカートリッジの回収箱も置き、回収することで、余分なプラスチックが再生されることなどにも気づくことができます。



○花いっぱい玄関

例年、保護者で組織されている校外委員の皆さんが年に数回、正面玄関付近のプランターに季節の花を植え替えてくれています。その後は、担当の児童がきれいに咲いている花を守ろうと水やりを行っています。



○節電への呼びかけ

自分たちが快適な学校生活を送るために、たくさんの電気が使われていることに気付き、昨年度から、ポスターを作成して掲示しています。使用していない教室やトイレ等の照明を消灯したり、エアコン・ヒーターの使用方法を守ったりすることを、全校に呼びかけ、省エネルギーな生活に取り組んでいます。



○授業の中での学び

環境について本当のことを知らなければ、対策はとれません。全校に向けて、これまで以上に、授業の中で児童が学ぶことを意識して取り組みました。

《6年生・理科》『物の燃え方と空気』物が燃えると二酸化炭素がでることを学習した。すでに知っている児童から、「地球温暖化」「酸性雨」などの言葉が発せられ、学級全体の学びへと発展した。

《5年・理科・社会》『台風と天気の変化』台風について学んでいる中で、近年の台風の発生や被害を知り、気候変動が関係していることに気付き、自分たちでできることを考えた。また、社会では、日本には多くの自然災害が発生していることや、その対策としていろいろな努力がされていることを学んできました。

以上のように、教科の学びの中で正しい知識を身に付けられるようにしました。

3 今後の活動について

今年度は、縦割り清掃や集会等で、環境に関することを意識できるように伝えることができました。各学級でも環境についての意識が高まるように学び、それを日々の生活の中で小さなことから実践してきました。また、教職員が共通意識を図り、積極的に行動してきました。今後も、子どもたちだけでなく、教職員や保護者などの大人の意識を高める活動等も意欲的に取り組んでいきたいと考えています。